

# “One&Only”を目指す日本カーバイド工業の挑戦

日本カーバイド工業は、エレクトロニクスとセイフティを注力分野と位置付け、機能化学品、半導体用金型クリーニング剤、再帰反射シート、3Dエンブレムなどの「One&Only」製品を通じて、よりスマートで持続可能な社会の実現に貢献しています。By Daniel de Bomford

20世紀後半のイノベーションは、日本の産業によって形作られました。「Made in Japan(日本製)」は、信頼と安心・安全の代名詞となりました。1935年に設立、翌年に事業を開始した日本カーバイド工業は、この変革を牽引した企業のひとつです。設立時の「カーバイド工業を究極的に研究して、人類の福祉に役立てたい」という理念は、現在のグループミッション「技術力で価値を創造し、より豊かな社会の発展に貢献する」に受け継がれています。

代表取締役社長 兼 CEO の杉山孝久氏は、日本カーバイド工業が社会への貢献と持続可能な成長を目指し、同社にしか生み出せない高付加価値製品に注力していると語ります。

その代表例が、道路標識やナンバープレートなどに使用される再帰反射シートです。高精度な光学シミュレーション技術により設計された構造は、夜間でも高い視認性を確保し、紫外線や風雨にも耐える高い耐候性を備えています。安全性と信頼性が求められる分野において、同社製品は確かな存在感を示しています。

また、半導体分野では、銅配線と絶縁樹脂の密着性を高めるアゾール化合物、高精度な回路形成を可能にするレジスト架橋剤などの機能化学品を展開。更に安定した洗浄性能を誇る半導体用金型クリーニング材は、世界市場で高い評価を得ており、半導体産業に注力する中国市場でも需要が拡大しています。

デザイン性と耐久性を兼ね備えた3Dエンブレムは、二輪車から自動車市場へと展開を進めています。特に、欧米市場では再帰反射シートや高機能フィルムとともに、自動車メーカー向けに拡販を進めています。

また、同社は製品群ごとに国際戦略を策定し、地域ごとの市場特性に応じた柔軟で効果的な戦略を展開しています。

日本カーバイド工業は来年の2026年が事業を開始してから90周年となります。将来を見据え、杉山氏は「操業開始100周年に向けて、革新性と持続可能な成長力を兼ね備えたグローバル企業として社会に信頼される存在であり続けたい」と語ります。



Retroreflective sheet



Functional chemicals



Semiconductor cleaning materials



3D emblem

**NIPPON CARBIDE INDUSTRIES CO., INC.**  
[www.carbide.co.jp/en](http://www.carbide.co.jp/en)